

令和7年度 埼玉県総合評価方式【工事】に係る入札参加者アンケート

現在の総合評価の制度について

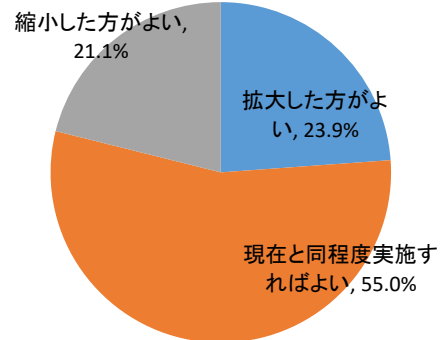
埼玉県では、令和6年度埼玉県発注工事において設計額(税込み)1千万円以上の工事のうち約2割で総合評価方式を実施しました。
また、総合評価方式のうち約95%が簡易型(技術提案を求めない型)での発注であり、さらにその約半数が特定課題対策パッケージによる発注となっています。

設問1 大規模工事(設計額2億円以上)の総合評価方式での発注についてどのように考えますか。

* 貴社が対応可能な工事のみお答えください。

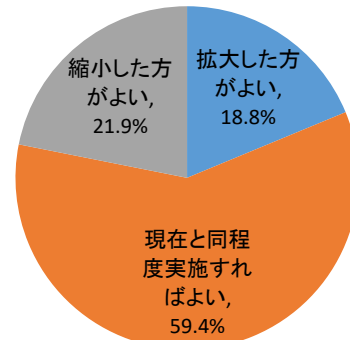
ア土木工事

	回答	割合
拡大した方がよい	26	23.9%
現在と同程度実施すればよい	60	55.0%
縮小した方がよい	23	21.1%
合 計	109	100.0%



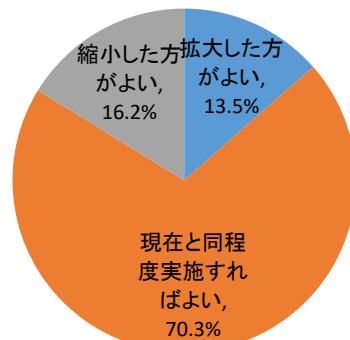
イ建築工事

	回答	割合
拡大した方がよい	12	18.8%
現在と同程度実施すればよい	38	59.4%
縮小した方がよい	14	21.9%
合 計	64	100.0%



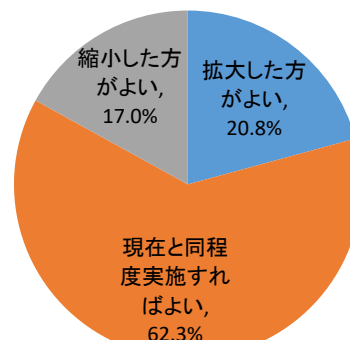
ウ設備工事

	回答	割合
拡大した方がよい	5	13.5%
現在と同程度実施すればよい	26	70.3%
縮小した方がよい	6	16.2%
合 計	37	100.0%



エその他工事

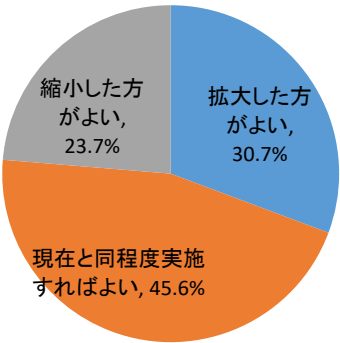
	回答	割合
拡大した方がよい	11	20.8%
現在と同程度実施すればよい	33	62.3%
縮小した方がよい	9	17.0%
合 計	53	100.0%



設問2 中小規模の工事(設計額2億円未満)の総合評価方式での発注についてどのように考えますか。
* 貴社が対応可能な工事のみお答えください。

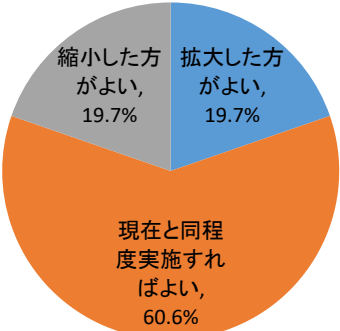
ア土木工事

	回答	割合
拡大した方がよい	35	30.7%
現在と同程度実施すればよい	52	45.6%
縮小した方がよい	27	23.7%
合 計	114	100.0%



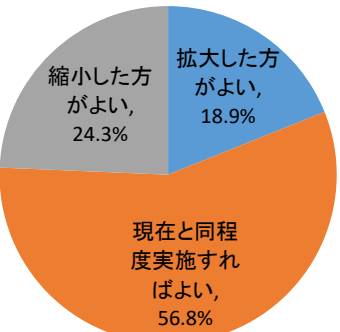
イ建築工事

	回答	割合
拡大した方がよい	13	19.7%
現在と同程度実施すればよい	40	60.6%
縮小した方がよい	13	19.7%
合 計	66	100.0%



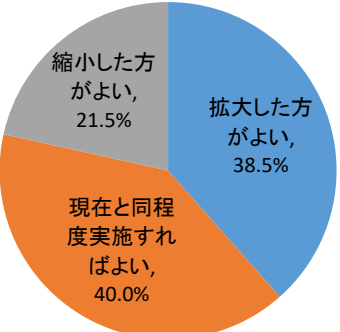
ウ設備工事

	回答	割合
拡大した方がよい	7	18.9%
現在と同程度実施すればよい	21	56.8%
縮小した方がよい	9	24.3%
合 計	37	100.0%



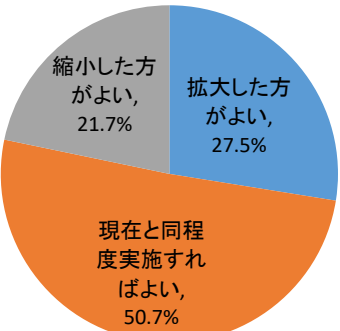
エ舗装工事

	回答	割合
拡大した方がよい	25	38.5%
現在と同程度実施すればよい	26	40.0%
縮小した方がよい	14	21.5%
合 計	65	100.0%



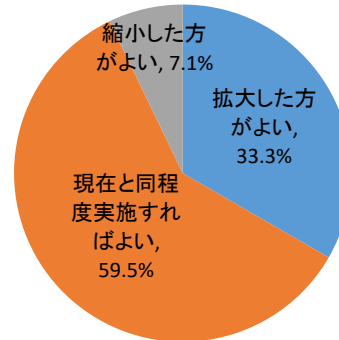
オとび・土工工事

	回答	割合
拡大した方がよい	19	27.5%
現在と同程度実施すればよい	35	50.7%
縮小した方がよい	15	21.7%
合 計	69	100.0%



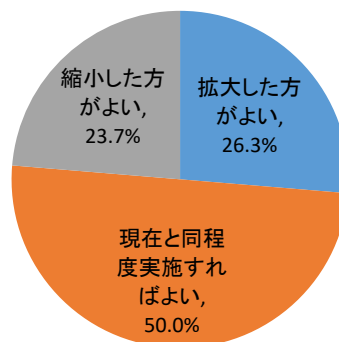
力造園工事

	回答	割合
拡大した方がよい	14	33.3%
現在と同程度実施すればよい	25	59.5%
縮小した方がよい	3	7.1%
合 計	42	100.0%



キその他工事

	回答	割合
拡大した方がよい	10	26.3%
現在と同程度実施すればよい	19	50.0%
縮小した方がよい	9	23.7%
合 計	38	100.0%

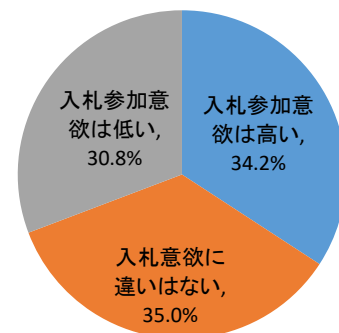


設問3 総合評価方式による入札の一般競争入札(価格のみ)に比した入札意欲を伺います。

* 貴社が対応可能な工事のみお答えください。

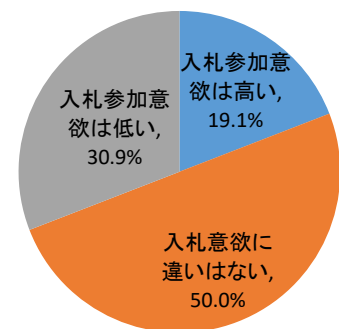
ア土木工事

	回答	割合
入札参加意欲は高い	40	34.2%
入札意欲に違いはない	41	35.0%
入札参加意欲は低い	36	30.8%
合 計	117	100.0%



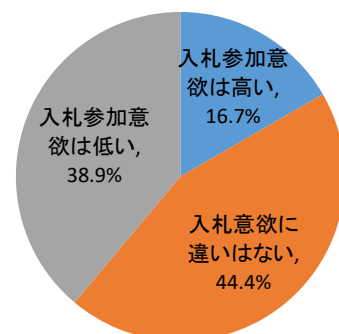
イ建築工事

	回答	割合
入札参加意欲は高い	13	19.1%
入札意欲に違いはない	34	50.0%
入札参加意欲は低い	21	30.9%
合 計	68	100.0%



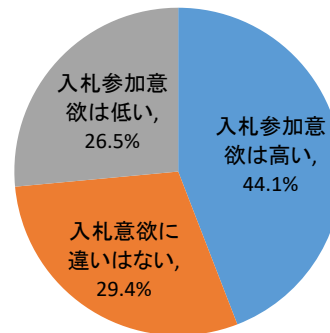
ウ設備工事

	回答	割合
入札参加意欲は高い	6	16.7%
入札意欲に違いはない	16	44.4%
入札参加意欲は低い	14	38.9%
合 計	36	100.0%



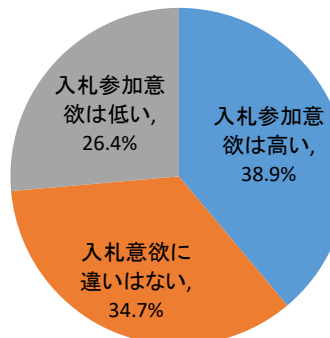
工舗装工事

	回答	割合
入札参加意欲は高い	30	44.1%
入札意欲に違いはない	20	29.4%
入札参加意欲は低い	18	26.5%
合 計	68	100.0%



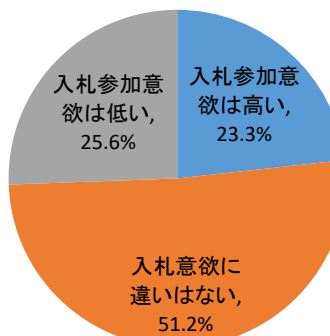
オとび・土工工事

	回答	割合
入札参加意欲は高い	28	38.9%
入札意欲に違いはない	25	34.7%
入札参加意欲は低い	19	26.4%
合 計	72	100.0%



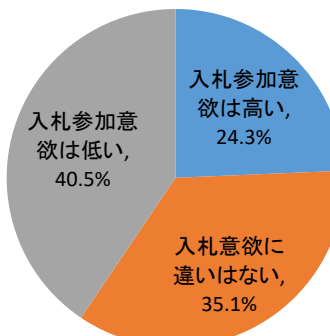
力造園工事

	回答	割合
入札参加意欲は高い	10	23.3%
入札意欲に違いはない	22	51.2%
入札参加意欲は低い	11	25.6%
合 計	43	100.0%



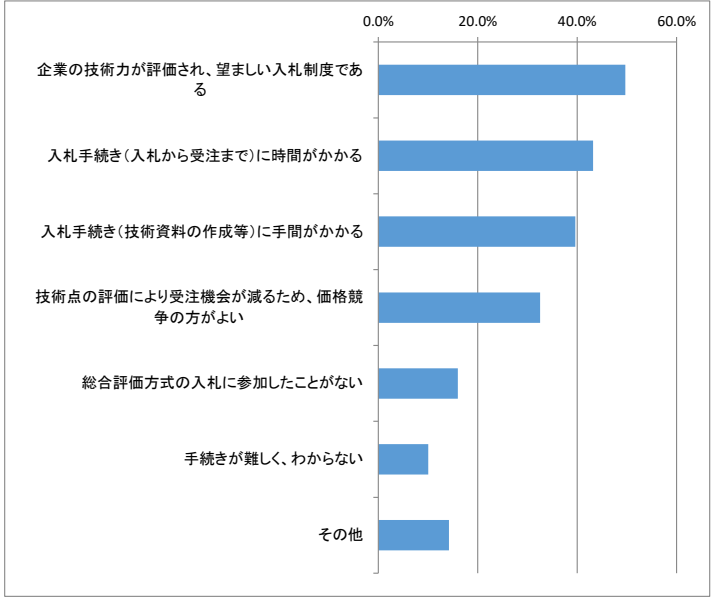
キその他工事

	回答	割合
入札参加意欲は高い	9	24.3%
入札意欲に違いはない	13	35.1%
入札参加意欲は低い	15	40.5%
合 計	37	100.0%



設問4 総合評価方式による入札について、どのようにお考えですか。(複数回答可)

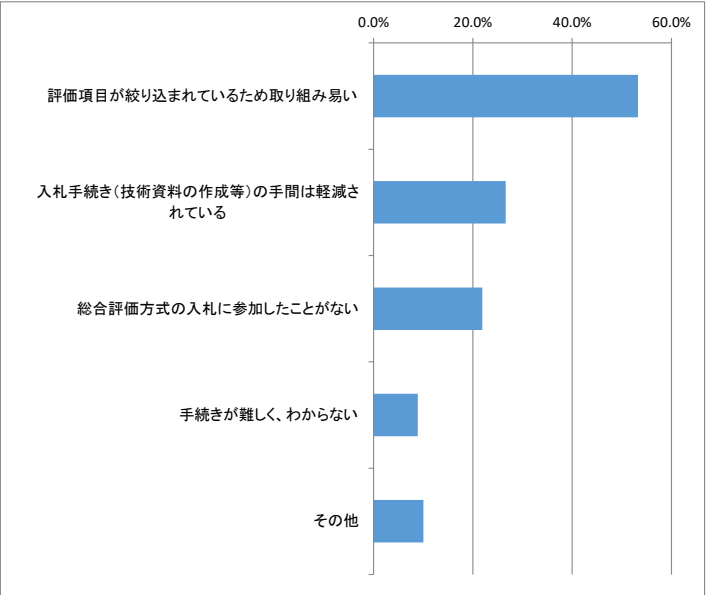
	回答	割合
企業の技術力が評価され、望ましい入札制度である	84	49.7%
入札手続き(入札から受注まで)に時間がかかる	73	43.2%
入札手続き(技術資料の作成等)に手間がかかる	67	39.6%
技術点の評価により受注機会が減るため、価格競争の方がよい	55	32.5%
総合評価方式の入札に参加したことがない	27	16.0%
手続きが難しく、わからない	17	10.1%
その他	24	14.2%
合 計	169	



- ※「その他」の意見 ()内は同主旨の意見数
- 1 評価の公平性・透明性に関する懸念・課題 (6)
 - 2 総合評価方式の評価項目や基準の明確化・適正化に関する意見 (5)
 - 3 価格以外の要素を含む評価の重要性・有効性に関する意見 (4)
 - 4 総合評価方式の導入効果・メリットを評価する意見 (4)
 - 5 総合評価方式の改善点・具体的提案 (4)
 - 6 総合評価方式が複雑・負担が大きいことへの指摘 (3)

設問5 特定課題対策パッケージ(若手・女性育成型や地域担手型、実績重視型)について、どのようにお考えですか。(複数回答可)

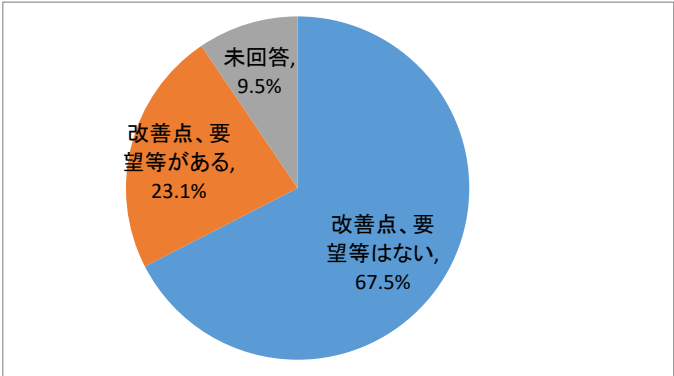
	回答	割合
評価項目が絞り込まれているため取り組み易い	90	53.3%
入札手続き(技術資料の作成等)の手間は軽減されている	45	26.6%
総合評価方式の入札に参加したことがない	37	21.9%
手続きが難しく、わからない	15	8.9%
その他	17	10.1%
合 計	169	



- ※「その他」の意見 ()内は同主旨の意見数
- 1 公平性・偏在への懸念(大企業・都市部優遇) (9)
 - 2 参加・実行可能性の問題(人材確保の困難) (5)
 - 3 制度の不要・廃止・代替案 (3)
 - 4 配点・評価項目の設計見直し (2)
 - 5 制度理解・利用状況 (2)
 - 6 拡充・新たな加点案(前向き意見) (2)
 - 7 エリア設定・市場実態との不整合
 - 8 実績要件・参入障壁
 - 9 多様性評価のあり方

設問6 現在の総合評価方式の評価項目について、改善が必要と思われる点や要望がありますか。

	回答	割合
改善点、要望等はない	114	67.5%
改善点、要望等がある	39	23.1%
未回答	16	9.5%
合 計	169	100.0%

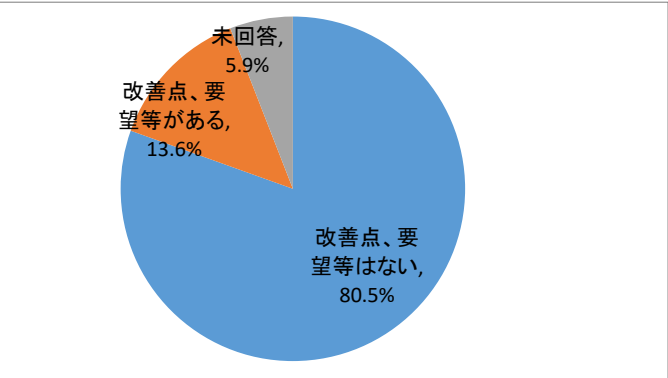


※「改善点、要望等がある」の具体的な意見（ ）内は同主旨の意見数

- 1 技術力重視・実績偏重の是正（6）
- 2 個別項目（難工事、工事成績、除雪・災害、防災等）の運用改善（5）
- 3 人材・多様性（インターン、女性技術者、表彰の扱い）（4）
- 4 配点・評価項目のバランス見直し（3）
- 5 手持ち工事量の扱い（評価に入れる／入れない）（3）
- 6 小規模・中小・新規参入への配慮（3）
- 7 地域性・地域担い手の評価（3）
- 8 評価期間・対象実績の範囲（3）
- 9 技術資料・文言・手続の簡素化・期間（3）
- 10 価格・方式（低入・ECI・価格のみ案件の基準）（3）
- 11 罰則・不履行減点の柔軟化（2）
- 12 その他（4）

設問7 現在の総合評価方式の手続き（技術資料作成など）について、改善が必要と思われる点や要望がありますか。

	回答	割合
改善点、要望等はない	136	80.5%
改善点、要望等がある	23	13.6%
未回答	10	5.9%
合 計	169	100.0%



※「改善点、要望等がある」の具体的な意見（ ）内は同主旨の意見数

- 1 提出手続・様式の簡素化・重複排除（12）
- 2 評価項目・採点方式に関する見直し（7）
- 3 スケジュール・通知運用の見直し（4）
- 4 電子提出・ファイル運用の改善（2）
- 5 提出後の修正・差替え対応
- 6 技術資料の中身・証憑の在り方
- 7 制度運用・発注実務

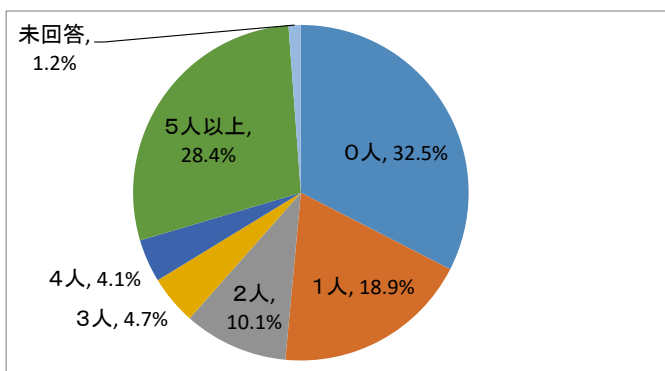
総合評価の評価項目について

建設業が健全に発展していくため担い手の確保が喫緊の課題となっています。
総合評価方式における担い手確保に関する評価項目として、令和7年7月から従前の若手技術者の配置に加え、女性技術者の配置も評価する項目に改定を行いました。

設問8 貴社に若手技術者(35歳未満の技術者)は何名いますか。

*ここでの技術者とは主に工事現場において業務に従事する方(現場代理人、主任技術者又は監理技術者等)とします。

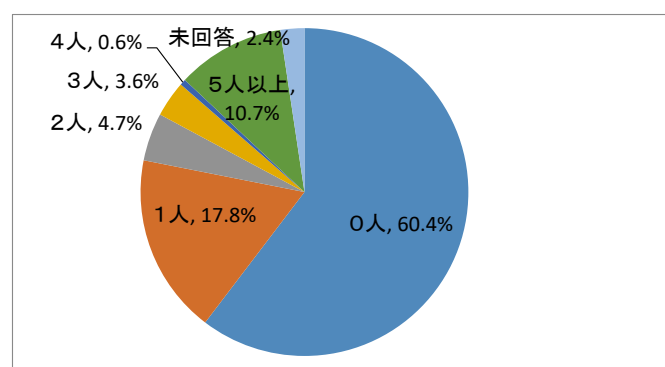
	回答	割合
0人	55	32.5%
1人	32	18.9%
2人	17	10.1%
3人	8	4.7%
4人	7	4.1%
5人以上	48	28.4%
未回答	2	1.2%
合 計	169	100.0%



設問9 貴社に女性技術者は何名いますか。

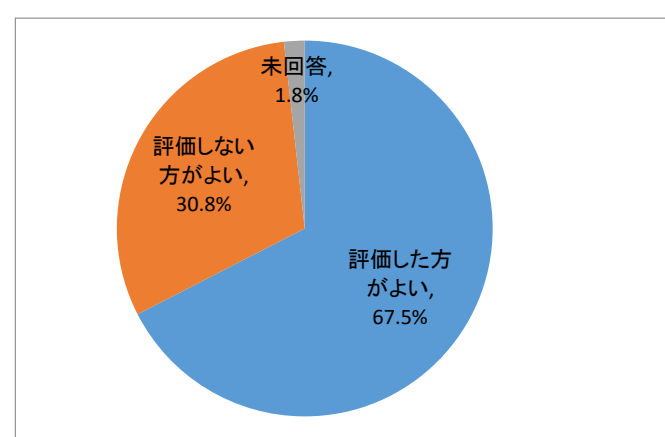
*ここでの技術者とは主に工事現場において業務に従事する方(現場代理人、主任技術者又は監理技術者等)とします。

	回答	割合
0人	102	60.4%
1人	30	17.8%
2人	8	4.7%
3人	6	3.6%
4人	1	0.6%
5人以上	18	10.7%
未回答	4	2.4%
合 計	169	100.0%



設問10 若手技術者を技術者として配置することを評価することについて、伺います。

	回答	割合
評価した方がよい	114	67.5%
評価しない方がよい	52	30.8%
未回答	3	1.8%
合 計	169	100.0%

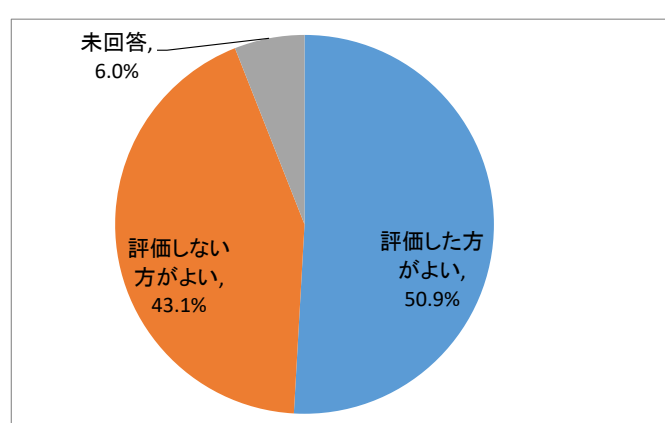


※回答の理由 ()内は同主旨の意見数

- 賛成(育成・技術継承・成長促進の観点) (53)
- 反対・懸念(不公平・入札影響) (26)
- 採用環境の厳しさ(現状・構造的課題) (18)
- 自社状況・個別意見 (13)
- 条件付き賛成・評価設計の見直し提案 (13)
- 制度運用・評価方法への個別提案・留意点 (7)

設問11 女性技術者を技術者として配置することを評価することについて、伺います。

	回答	割合
評価した方がよい	85	50.9%
評価しない方がよい	72	43.1%
未回答	10	6.0%
合 計	167	100.0%

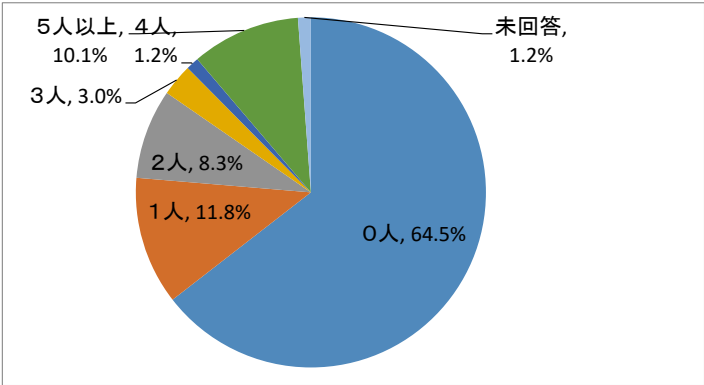


※回答の理由 ()内は同主旨の意見数

- 賛成(女性活躍・人材確保・育成促進の観点) (49)
- 実務上の課題(女性技術者が少ない・採用困難・不利や偏り) (43)
- 反対・慎重(性別での評価は不公平/本質は技術力・適材適所) (26)
- 中立・その他 (17)
- 条件付き賛成・運用提案 (8)

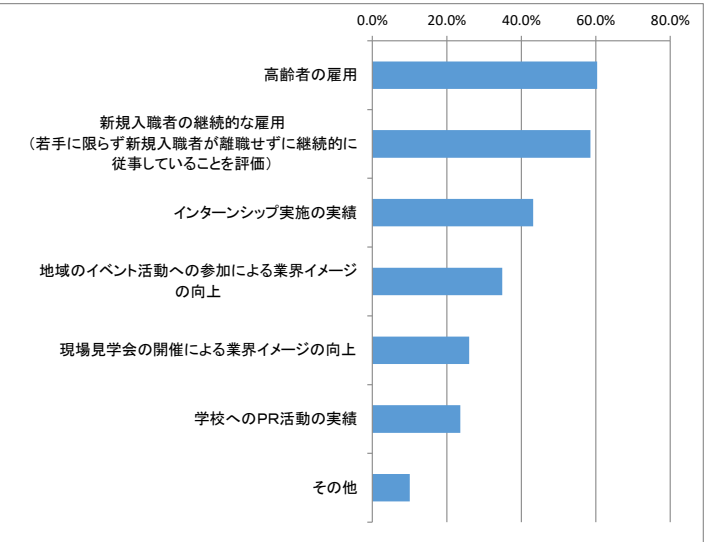
設問12 建設ディレクター又は同等の業務を担う職員の在籍状況について伺います。
* 建設ディレクター：現場技術者の負担を軽減し、作業の効率化と就労時間の短縮を図るため、施工書類やデータの作成、ICT業務を担い現場とオフィスをつなぐ職域

	回答	割合
0人	109	64.5%
1人	20	11.8%
2人	14	8.3%
3人	5	3.0%
4人	2	1.2%
5人以上	17	10.1%
未回答	2	1.2%
合 計	169	100.0%



設問13 建設業の担い手を確保するための総合評価方式における評価項目として適当と考えるものについて、伺います。【複数選択可】

	回答	割合
高齢者の雇用	102	60.4%
新規入職者の継続的な雇用 (若手に限らず新規入職者が離職せずに継続的に従事していることを評価)	99	58.6%
インターンシップ実施の実績	73	43.2%
地域のイベント活動への参加による業界イメージの向上	59	34.9%
現場見学会の開催による業界イメージの向上	44	26.0%
学校へのPR活動の実績	40	23.7%
その他	17	10.1%
合 計	169	

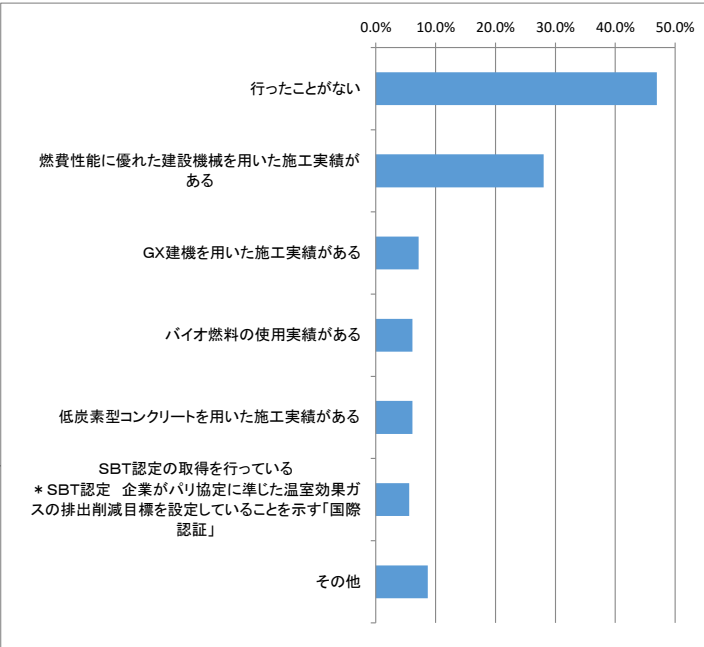


- ※その他の記載 ()内は同主旨の意見数
1 総合評価方式での評価自体に否定的(評価項目は不適当・望ましくない) (6)
2 教育・育成体制の整備と見える化 (3)
3 企業の社会的発信・地域貢献の評価 (3)
4 業界団体・協会加入の評価 (2)
5 定着率など人材指標の評価にあたっての例外・配慮を求める意見 (2)
6 異業種・グローバル人材の受け入れ促進 (2)
7 その他 (4)

政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロとする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しています。

設問14 カーボンニュートラルに向けた取組として行っている、または行ったことのある実績について伺います。【複数選択可】

	回答	割合
行ったことがない	92	46.9%
燃費性能に優れた建設機械を用いた施工実績がある	55	28.1%
GX建機を用いた施工実績がある	14	7.1%
バイオ燃料の使用実績がある	12	6.1%
低炭素型コンクリートを用いた施工実績がある	12	6.1%
SBT認定の取得を行っている * SBT認定 企業がパリ協定に準じた温室効果ガスの排出削減目標を設定していることを示す「国際認証」	11	5.6%
その他	17	8.7%
合 計	196	

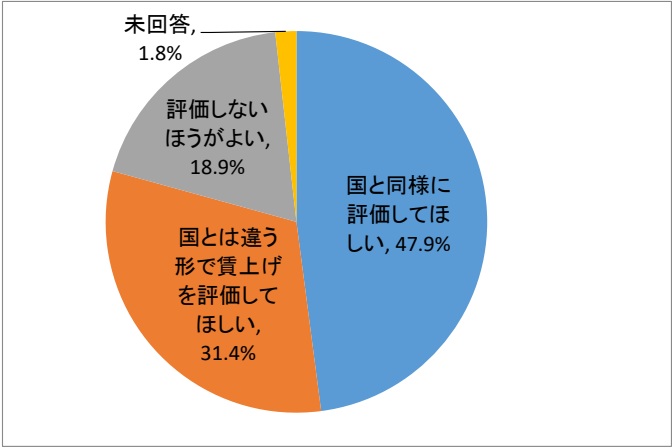


- ※その他の記載 ()内は同主旨の意見数
1 車両・重機の低炭素化(EV/ハイブリッド・燃料・運用) (15)
2 再生可能エネルギー・自家発電の活用 (9)
3 省エネ設備・運用改善(照明・機器・建材) (8)
4 目標管理・見える化・認証 (6)
5 制度・評価に関する意見(課題・要望) (4)
6 カーボンクレジット・オフセット・素材転換 (2)

設問15 国では総合評価方式による全ての調達において、入札時に賃上げを宣言した企業に対する加点を行っています。
総合評価方式における賃上げに係る評価について、伺います。

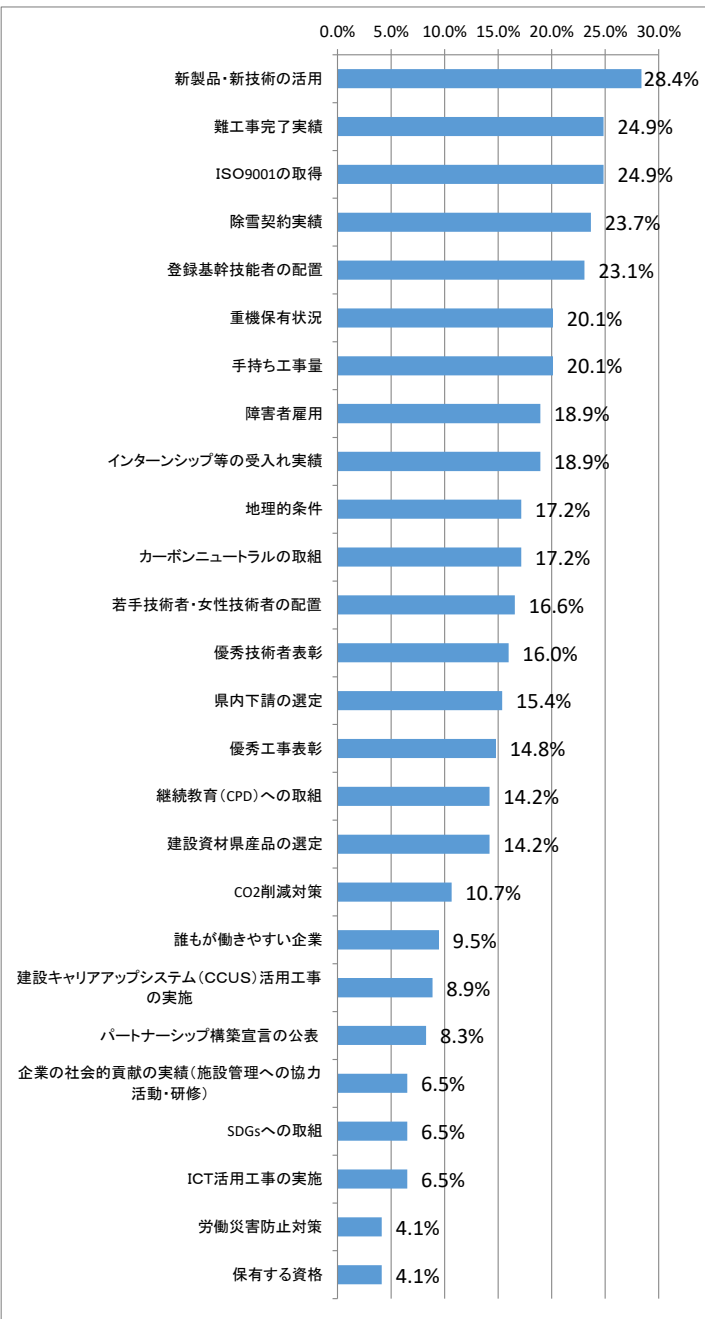
	回答	割合
国と同様に評価してほしい	81	47.9%
国とは違う形で賃上げを評価してほしい	53	31.4%
評価しないほうがよい	32	18.9%
未回答	3	1.8%
合 計	169	100.0%

- ※理由についての記載 ()内は同主旨の意見数
1 賛成・評価すべき(加点に賛成) (15)
2 中小・零細企業に配慮が必要(負担・困難) (9)
3 評価方法の公平性・実態反映を求める (4)
4 国の基準・方式の活用に賛成 (3)
5 手続・方式がわかりにくい(理解不足) (3)
6 慎重・否定的意見 (3)
7 個別・その他 (4)



設問16 現在設定されている選択項目について、加点項目としない方が良いと思う評価項目はありますか。

	回答	割合
新製品・新技術の活用	48	28.4%
難工事完了実績	42	24.9%
ISO9001の取得	42	24.9%
除雪契約実績	40	23.7%
登録基幹技能者の配置	39	23.1%
重機保有状況	34	20.1%
手持ち工事量	34	20.1%
障害者雇用	32	18.9%
インターンシップ等の受入れ実績	32	18.9%
地理的条件	29	17.2%
カーボンニュートラルの取組	29	17.2%
若手技術者・女性技術者の配置	28	16.6%
優秀技術者表彰	27	16.0%
県内下請の選定	26	15.4%
優秀工事表彰	25	14.8%
継続教育(CPD)への取組	24	14.2%
建設資材県産品の選定	24	14.2%
CO2削減対策	18	10.7%
誰もが働きやすい企業	16	9.5%
建設キャリアアップシステム(CCUS)活用工事の実施	15	8.9%
パートナーシップ構築宣言の公表	14	8.3%
企業の社会的貢献の実績(施設管理への協力活動・研修)	11	6.5%
SDGsへの取組	11	6.5%
ICT活用工事の実施	11	6.5%
労働災害防止対策	7	4.1%
保有する資格	7	4.1%
合 計	169	



設問17 総合評価方式に関する御意見を記入ください。 ()内は同主旨の意見数

- 1 評価項目・配点設計(実績偏重の是正・中小配慮) (15)
- 2 手続・制度運用の個別要望 (15)
- 3 制度評価(肯定・否定・中立) (14)
- 4 受注の偏り・競争性・公平性の確保 (13)
- 5 提出書類・事務負担の重さ(簡素化・デジタル化) (11)
- 6 落札決定までの時間が長い・運用の平準化 (8)
- 7 簡易型の是非・技術提案型の拡充 (8)
- 8 その他の個別論点 (7)
- 9 市町村への拡大・県の指導強化 (6)
- 10 環境・DX等の評価 (3)
- 11 情報公開・透明性 (2)
- 12 技術提案の採点方法 (2)